

# 高知県産業振興計画の推進によって実現を目指す本県産業の姿 農業分野

現状

H24

第2期計画ver.2(仮称)の取り組み

H25

H26

H27

4年後の目標  
(H27年度末)

さらなる飛躍  
へのポイント

10年後の目指す姿  
(H33年度末)

農業産出額 930億円(H22) → 958億円(H23)

<p><b>生産</b></p>	<p>◆本県農産物の品質を高め、生産量を増やす ○高収量・高品質に向けた取組の展開 ・「学び教えあふ場」の取組をさらに県内に広げる。 ・高知県産花きの生産振興を強化 ・農業技術センターと連携し、現場のハウスに合った革新的な環境制御及び省エネ技術等の確立、普及（オランダの技術を習得して増収） ・レンタルハウス整備や園芸用ハウス流動化への支援により、営農定着や規模拡大への負担を軽減する→ハウス整備とあり、ヒートポンプ、木質バイオマスボイラー、改良型燃料タンク等を整備する場合等、補助対象を拡大する。 ○環境保全型農業のトップランナーの地位を確立 ・天敵導入など安心・安全につながるIPM技術を全地域、全品目へ普及。 ・オランダとの友好園芸協定を活かす。 ・オランダ民間企業の技術者の招へい策による技術開発、普及の加速、高収量・高品質に向けた「<u>こうち新施設園芸システム</u>」を構築する。 ○米・土佐茶・畜産など地域の特産物の生産拡大やブランド化、生産性の向上を進める ・<u>畜産の生産量強化</u> ◆<u>担い手の確保と、地域の核となる農業者等の規模拡大を進める</u> ○新規就農者の確保・育成と、実践研修などによる営農定着を支援する ・研修や就業時に利用できるハウスの整備 ○農地の集積による規模拡大や、経営体質の強化を進める ◆<u>中山間地域の農業を維持・活性化させる</u> ○集落営農を県内全域へ拡大する ○こうち型集落営農のステップアップを支援する ・法人化や組織の加工等への取組を促す ○中山間に適した農産物等の生産（薬用作物の生産拡大支援など） ・中山間での有望品目として販売ルートが確保され、軽量で初期投資の少ないミニマサイコの振興を図る。 ・生産者が高齢化しても安心して農産物を生産できるように、直販所向けを含めて、農家の庭先や地域拠点施設への集荷、維持など集出荷体制の充実強化、有望品目の導入を支援する。</p>
<p><b>加工</b></p>	<p>◆<u>生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す</u> ◆<u>農業者の収入につながる地域資源の加工を進める</u> ○農産物加工ができる人材を育成する ・<u>農業創造人材育成事業修了生等のステップアップを支援する</u> ○地域資源を活用した商品開発や事業者とのマッチングを進める ・<u>地域に合った伝統作物を復活させる、増やす、加工につなげる</u> ○農産物加工品のブランド化を支援する</p>
<p><b>流通・販売</b></p>	<p>◆<u>国産品の基幹流通を強化するとともに、実需者のニーズに対応できる新たな流通・販売体制を構築する</u> ○産地を伝える販売を強化し、本県国産品のファンづくりを行う ・「新園芸ブランド」による販売を拡大する。 ・本県産品の取組を理解してくれるパートナー量販店での販売を強化する。 ・流通関係者等の産地招へいや、メディアの活用、学校等への出前授業の実施により、産地の取組をPR。 ○新たな販路を開拓するとともに、実需者のニーズを的確に捉え生産に活かす ・市場流通以外の「顧客と産地をつなぐ新たな受発注システム」を構築する。 ・こだわりの野菜・果実の生産者と多様なニーズを持った実需者とのマッチングを進める。 ・<u>高知県産花きの販売強化（関東で商談会を実施、実需者との顔が見える関係づくり、県産花きの販</u> <u>売</u> PR強化、花きアドバイザーの設置、輸出の拡大） ・ユス青果や果汁・加工品、花き等の輸出支援。EU向け農産物輸出支援。 ◆<u>特産農産物のPRや販促、商談会等により販路を拡大する</u></p>

**農業産出額 1000億円以上を目指す**

- IPM技術がより高度化するとともに、全地域・全品目へ普及
- 集落営農組織による農地（田・畑）のカバー率  
＜組織構成員の所有面積の県内面積（28,600ha）に占める割合＞  
H23：9.1%（2,607ha）  
→H27：13.9%（3,974ha）
- こうち型集落営農数  
H23：17組織  
→H27：32組織
- 新規就農者数  
230人/年

●地域資源を活用した加工の取り組みが県内各地に広がる

●本県農産物の販路開拓を通じ、実需者のニーズに合った柔軟な流通・販売体制ができていく

●実需者の声が産地にフィードバックされ、販路を見据えた生産ができていく

**農業産出額 1050億円以上を目指す**  
～地域で暮らし稼げる農業～

**生産性の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成**

オランダ並みの生産性を目指す「新施設園芸システム」を県内各地に普及

一経営体あたりの収入をアップ

農地を集積  
施設の高制度化・大規模化

経営力のある企業的经营体を県内各地に育てる

中山間で収入を得る仕組みを定着  
こうち型集落営農を適した拠点ビジネスを各地域へ拡大

**農産物の付加価値を向上**  
各地に生まれた加工の動きを産業に育てる

**若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立**

- 集落営農組織による農地（田・畑）のカバー率：27.8%（7,948ha）
- 集落営農のうち、こうち型集落営農数：100組織

**農で働き高知で暮らす**

- 新規就農者数：250人/年

**攻めの外販で稼ぐ農業**

- 販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合：20%（H22：11.5%）